

高

すぎる国保料の引き下げを 求める署名にご協力ください



絶対に許しません 保険証の取り上げ

「ガマンにガマンを重ねた結果、病院に行った時は、すでに重症化して手遅れ！こんな悲劇が後を絶ちません。全日本民主医療機関連合会の調査では、昨年1年間に全国で少なくとも56人が経済的な理由で治療が遅れて死に至ったことが明らかになりました。「カネの切れ目が命の切れ目」という異常事態を、いつまでも繰り返すことは許されません。

ヒエッ! 12年で 340倍に

年度	保険証を取り上げられた世帯
2001年	7世帯
2002年	11世帯
2005年	841世帯
2006年	1,217世帯
2012年	2,381世帯

しかも岡山県
全体の64%が
岡山市↓



岡山県下の保険証取り上げ状況

市町村	国保世帯数	保険証を取り上げられた世帯
岡山市	100,827世帯	2,381世帯
岡山県合計	281,668世帯	3,735世帯

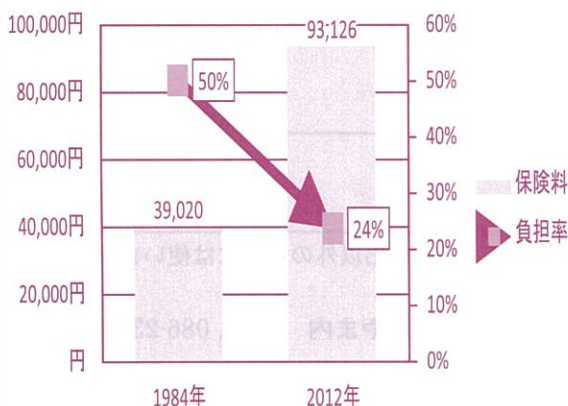
がんばったネ 保険料据え置き

岡山市は、2014年度まで7年連続で保険料を据え置いています。市民の皆さんからの「署名」に応じて頑張っています。一方、改善しないとイケないのが、市民から保険証を取り上げる政策の改善です。2001年から12年でなんと340倍に。岡山県下でもダントツです。

ここが諸悪の根源 国の負担率の低下



国庫負担率と保険料の推移



年金生活者や自営業者、一部のパートやアルバイト労働者、失業者が加入する国民健康保険は、そもそも「適切な国庫負担」が前提の制度です。ところが国は、「国庫支出の割合」を半分に以下にしています。(左表)。国の負担を元に戻すことが根本問題です。

- ご存じですか？ 今、岡山市では……
- ① 4世帯に1世帯が保険料の支払いで苦労…
 - ② 10世帯に1世帯が健康保険証がもらえなく？なるかも……！
- という現実にとさらされています

国民健康保険は、全ての 市民に関係する問題です

高すぎる国民健康保険料の引き下げを求める請願

岡山市長 大森雅夫 様

請願趣旨

岡山市民の3分の1を占める国保世帯には、年金生活者や無職、不況にあえぐ零細自営業者、パート・アルバイトなど非正規労働者の方が多く加入しています。加入者の73%は所得200万円以下となっています。

岡山市の国民健康保険料は、市の努力もあって7年連続の据え置きになっています。しかし、他の政令市と比べれば大変高いという現状に変わりありません。「払いたくても払えない」、「生活が苦しい、払える額に引き下げて」という悲鳴が多くの市民からあがっています。高すぎる保険料を払えず、滞納がある世帯は今や23,000世帯にもなっています。

正規の国民健康保険証を持ってない世帯も増え続けています。そのため病院窓口での支払いが心配で、病気になっても医者にかかれない事態も起こっています。

国民健康保険は、憲法25条の社会保障の理念にもとづく国民皆保険の土台のはずです。

岡山市は「市民のいのちと暮らしを守るとりで」として、国に対し、減らした国庫負担を元に戻すよう要求するとともに、保険料を「払うことができる額」に引き下げ、誰もが安心して医療が受けられるようにすることを強く求めます。

請願事項

- 1、全ての世帯で国民健康保険料を引き下げてください。

氏名	住所

※記入していただいた個人情報は、署名提出以外の目的には使いません。

岡山市社会保障推進協議会 〒700-0905 岡山市北区春日町5-6 県労おかやま内 TEL. 086-234-2041

取り扱い団体 ()